

アクセシビリティ適合性報告書

ADA/WCAG/UNI-EN301549
アクセシビリティ声明
([VPAT®](#)に基づいています)



Client:

[ETRO S.p.A](#)

URL:

<https://www.etro.com/>

Date:

[5/02/2026](#)



目次

目次	3
01.はじめに	4
01.1 ー 概要	5
01.2 ー テスト環境	5
オペレーティング・システム(OS)	5
ブラウザおよびユーザーソフトウェア	5
スクリーンリーダーおよび支援技術	6
02.アクセシビリティ適合性報告書	7
02.1 ー 概要情報	8
03.WCAG 2.x報告書	9
03.1 ー 達成基準、レベルA	10
03.2 ー 達成基準、レベルAA	13
04.EN 301 549報告書	16
04.1 第4章:機能性能仕様書(FPS)	17
04.2 第5章:一般要件	18
04.3 第6章:双方向音声通信を備えたICT	20
04.4 第7章:映像機能を備えたICT	21
04.5 第8章:ハードウェア	22
04.6 第9章:ウェブ(WCAG 2.xの該当セクションを参照)	24
04.7 第10章:ウェブ以外の文書	24
04.8 第11章:ソフトウェア	24
04.9 第12章:文書およびサポートサービス	26
04.10 第13章:ICTによる中継または緊急サービスへのアクセス提供	27
05.附属書	28
05.1 ー ウェブ・アクセシビリティ	29
05.2 ー WCAG	30
05.3 ー 手法	32
客観的な手動および半自動による検証手法	32
構文チェック用の自動ツール	32
色検証用の自動および半自動ツール	32
アクセシビリティ検証用の自動および半自動ツール	32
用語	33
準拠レベル	33

※本文中では、表現の簡潔さを考慮し、「障がい者」という表現を用いています。

01.はじめに

01.1 - 概要

VPAT(情報アクセシビリティ自己評価様式)は、評価に使用する基準／ガイドラインに基づき、4つの版で提供されています。各版は、それぞれWCAG、米国基準(改訂リハビリテーション法508条)、欧州基準(EN 301549)、またすべての基準を含む国際基準に基づいています。

本文書は、VPATのWCAG版およびEU版に基づいています。この中には、下記の基準／ガイドラインが含まれています:WCAG(Web Content Accessibility Guidelines)2.0、WCAG(Web Content Accessibility Guidelines)2.1、UNI-EN 301549

[詳しくは、ITIウェブページをご覧ください。](#)

注意:VPATは、ICT製品のアクセシビリティ・レベルを評価する重要な支援ツールとなり得ますが、製品が関連規格や技術仕様に準拠していても、障がいの性質や重症度によっては、使用に不便を感じる可能性があることに留意する必要があります。一方、すべての技術要件を満たしていない製品であっても、障害の内容や利用状況によっては、特定のアクセシビリティ機能を必要としないため、実質的にアクセシビリティが確保される場合もあります。(例:聴覚障がいのある利用者にとっては、大型ボタンを備えた電話機が必須ではない場合があります)

01.2 - テスト環境

オペレーティング・システム(OS)

- Apple Mac OS X(最新版)
- Microsoft Windows(最新版)
- Apple iOS(最新版)
- Google Android(最新版)

現時点で、Linuxは障がい者の間でほとんど使用されていないため、テストに含めていません。

ブラウザおよびユーザーソフトウェア

各OSで利用できる最新版:

- Google Chrome
- Windows Edge
- Safari
- Adobe Acrobat Reader／Macのプレビュー(PDFのみ)

スクリーンリーダーおよび支援技術

当社は、最も標準的な評価を行うために、**適合処理を一切行わずテスト**しています。

当社は、最も現実的な評価を行うために、**下記のような適合処理も行っています**：

- 各システムに存在するグラフィック調整(色、コントラスト、字幕など)
- マウス・エミュレーション、拡大鏡、スクリーンキーボード、または各種システムにおけるキーボード設定の常時改善
- VoiceOver — Appleシステムのみ
- TalkBack — Androidのみ
- NVDA(最新版)およびFreedom Scientific Jaws(第2版～最新版) — Windowsのみ

02. アクセシビリティ適合性報告書

02.1 - 概要情報

企業: ETRO S.p.A

製品名/版: <https://www.etro.com/>

報告日: 2026年2月5日

製品説明: [Etro.com](https://www.etro.com/)

問合せ先: customercare@etro.com

評価手法: ([05.3 - 手法](#)を参照)

適用基準/ガイドライン

WCAG (Web Content Accessibility Guidelines) 2.0	レベルA(はい) レベルAA(はい) レベルAAA(いいえ)
WCAG (Web Content Accessibility Guidelines) 2.1	レベルA(はい) レベルAA(はい) レベルAAA(いいえ)

用語

適合レベルを示す各用語は、下記の意味を有します:

- **サポート**: 製品の機能には、既知の不具合なしに基準を満たす方法が最低1つ存在するか、同等の支援手段が存在します。
- **部分サポート**: 製品の一部機能が基準を満たしていません。
- **非サポート**: 製品の大半の機能が基準を満たしていません。
- **適用対象外**: 製品は基準の適用対象ではありません。
- **未評価**: 製品は基準に沿って評価されていません。これは、WCAGレベルAAA基準でのみ使用可能です。

03.WCAG 2.x報告書

注記:WCAG 2.x 達成基準に対する適合性を報告する際、適用範囲は、完全なページ、完全なプロセス、およびWCAG 2.0 適合要件に定められたアクセシビリティ対応技術の使用方法に限定されています。

03.1 - 達成基準、レベルA

基準	適合レベル	コメントおよび説明
1.1.1 非テキストコンテンツ	部分的サポート	ユーザーに提示される非テキストコンテンツのすべてにおいて、同等の目的を果たすテキスト代替手段が備わっているわけではありません。
1.2.1 音声のみ・動画のみ(事前記録)	サポート	
1.2.2 字幕(事前記録)	サポート	
1.2.3 音声解説/メディア代替手段(事前記録)	サポート	
1.3.1 情報および関係性	部分的サポート	ページの提示を通して伝えられる情報、構造、または関連性を、プログラムで判断できない(または、テキストを通して入手できない)場合があります。
1.3.2 意味のある順序	サポート	
1.3.3 感覚的特性	サポート	
1.4.1 色の使用	サポート	
1.4.2 音声制御	サポート	
2.1.1 キーボード	部分的サポート	一部の機能は、キーボード(または類似の入力インターフェース)を使用しての起動ができません。

2.1.2 キーボードトラップの回避	サポート	
2.1.4 文字キーショートカット	サポート	
2.2.1 タイミング調整可能	サポート	
2.2.2 一時停止、停止、非表示	部分的サポート	自動開始されたアニメーション、点滅、スライド、または情報の自動更新において、それが5秒を超えて継続したり、他のコンテンツと並行して表示されたりする場合、それを停止または非表示にする手段はありません。
2.3.1 3回以下の閃光または閾値以下	サポート	
2.4.1 ブロックのバイパス	サポート	
2.4.2 ページタイトル	部分的サポート	一部のウェブページには、トピックや目的を説明するタイトルが存在しません。
2.4.3 フォーカス順序	部分的サポート	順番に閲覧可能であり、ナビゲーションの順序が意味や機能に影響する一部のウェブページにおいてフォーカスされるオブジェクトには、その意味や操作を保つ順序でフォーカスされないものがあります。
2.4.4 リンクの目的(文脈内)	部分的サポート	特定のリンクの目的は、リンクテキストのみで、または隣接コンテンツと組み合わせても判断できません。
2.5.1 ポインタ操作	サポート	
2.5.2 ポインタキャンセル	サポート	

2.5.3 名称内のラベル	部分的サポート	ラベルにテキストやテキスト画像を含む一部のユーザー・インターフェース・コンポーネントにおいて、支援技術によって読み上げられる名称の中に視覚的に表示されているテキストは含まれていません。
2.5.4 動作による起動	サポート	
3.1.1 ページの言語	サポート	
3.2.1 フォーカス時	サポート	
3.2.2 入力時	サポート	
3.2.6 一貫したヘルプ	サポート	
3.3.1 エラー識別	サポート	
3.3.2ラベルまたは指示	部分的サポート	ユーザーによる入力操作が必要なコンテンツにおいて、ラベルや指示が提供されていない場合があります。
3.3.7 重複入力	サポート	
4.1.1 解析	サポート	
4.1.2 名前、役割、値	部分的サポート	ユーザー・インターフェース・コンポーネント(モジュール要素、スクリプト生成リンク、およびコンポーネントを含みます)において、名前、役割、状態、プロパティ、および値が間違っている場合、設定されていない場合、あるいはこれら属性が変更された際にユーザー支援技術に対して警告が発せられない場合があります。

03.2 - 達成基準、レベルAA

基準	適合レベル	コメントおよび説明
1.2.5 音声解説(事前録音)	サポート	
1.3.4 方向	サポート	
1.3.5 入力目的の識別	部分的サポート	特定のデータを受け入れる入力フィールドの目的が、支援技術に正しく伝達されていない、もしくは正しく実行されていません。
1.4.3 コントラスト(最小)	部分的サポート	許可されていない場合、テキストやテキストを含む画像の視覚的提示は、必ずしも必要最低限のコントラスト比を有しているわけではありません。***
1.4.4 テキストのサイズ変更	部分的サポート	字幕およびテキスト付き画像を除き、一部のテキストは、支援技術なしで、コンテンツや機能を低下させることなく200%まで拡大することができません。
1.4.5 テキストの画像化	サポート	
1.4.10 リフロー	部分的サポート	2次元表現を必要としないコンテンツ(データ表や地図など)は、サイズ変更時に再配置されません。
1.4.11 非テキストのコントラスト	部分的サポート	一部の必須コンポーネントでは、異なる状態においても隣接要素との色コントラスト比が3:1を超えていません。
1.4.12 テキスト間隔	部分的サポート	行の高さ、または段落や文字や単語間のスペースに関連するテキスト間隔を変更すると、

		情報やコンテンツの一部が失われます。
1.4.13 ホバー時またはフォーカス時のコンテンツ	部分的サポート	場合によって、マウスのポインタの通過(ホバー)やキーボードのフォーカスによってコンテンツが表示・非表示される際、マウスのポインタやキーボードのフォーカスを移動させずに追加コンテンツを非表示にする手段は存在しません。ポインタを追加コンテンツに移動させることにより、表示を消すことができます。あるいは、ホバーやフォーカスが解除されるか、ユーザーが削除するか、情報が無効になるまで、追加コンテンツは表示された状態になります(一部の例外を除きます)。
2.4.5 複数の方法	サポート	
2.4.6 見出しおよびラベル	部分的サポート	ヘッダーやラベルが、コンテンツまたは機能を十分に明確に示していません。
2.4.7 フォーカスの可視性	部分的サポート	一部のインタラクティブ要素で、フォーカスインジケータが表示されません。
2.4.11 隠されないフォーカス(最小限)	サポート	
2.5.7 ドラッグ動作	サポート	
2.5.8 ターゲットサイズ(最小)	部分的サポート	特定のインタラクティブ要素が、最小ターゲットサイズ(24 × 24 CSSピクセル)を満たしていません。
3.1.2 一部分の言語	サポート	

3.2.3 一貫したナビゲーション	サポート	
3.2.4 一貫した識別	サポート	
3.3.3 エラー提案	部分的サポート	入力エラーが特定されて修正提案が可能な場合、法律で禁止されている場合を除き、ユーザーには提示されていません。
3.3.4 エラー防止(法的、財務、データ)	サポート	
3.3.8 アクセシブルな認証(最小)	サポート	
4.1.3 ステータスメッセージ	部分的サポート	場合によっては、状態メッセージがユーザーに提示されないため、支援技術はフォーカスを移動することなしにそれを解釈することができません。

04.EN 301 549報告書

注記:WCAG 2.x 達成基準に対する適合性を報告する際、適用範囲は、完全なページ、完全なプロセス、およびWCAG 2.0 適合要件に定められたアクセシビリティ対応技術の使用方法に限定されています。

04.1 第4章:機能性能仕様書(FPS)

基準	適合レベル	コメントおよび説明
4.2.1 視覚を伴わない使用	部分サポート	
4.2.2 視覚が制約された使用	部分サポート	
4.2.3 色覚を伴わない使用	部分サポート	
4.2.4 聴覚を伴わない使用	部分サポート	
4.2.5 聴覚が制約された使用	部分サポート	
4.2.6 発声能力がない、または制約された使用	部分サポート	
4.2.7 操作能力または筋力が制約された状態での利用	部分サポート	
4.2.8 到達範囲が制約された状態での利用	部分サポート	
4.2.9 光感受性てんかんの誘発要因の最小化	部分サポート	
4.2.10 認知能力、言語能力、学習能力が制約された状態での利用	部分サポート	
4.2.11 プライバシー	部分サポート	

04.2 第5章:一般要件

基準	適合レベル	コメントおよび説明
5.1 クローズド機能	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
5.1.2 概要	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
5.1.2.1 クローズド機能	5.2~13を参照	5.2~13を参照
5.1.2.2 支援技術	5.1.3~5.1.6を参照	5.1.3~5.1.6を参照
5.1.3 非視覚的アクセス	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
5.1.3.1 視覚情報の音声出力	適用対象外	
5.1.3.2 音声を含む聴覚出力の提供	適用対象外	
5.1.3.3 聴覚出力の連動性	適用対象外	
5.1.3.4 音声出力のユーザー制御	適用対象外	
5.1.3.5 音声出力の自動中断	適用対象外	
5.1.3.6 非テキストコンテンツの音声出力	適用対象外	
5.1.3.7 動画情報の音声出力	適用対象外	
5.1.3.8 マスクされた入力	適用対象外	
5.1.3.9 個人データへのプライベートアクセス	適用対象外	
5.1.3.10 干渉しない音声出力	適用対象外	
5.1.3.11 プライベートリスニング音量	適用対象外	
5.1.3.12 スピーカー音量	適用対象外	
5.1.3.13 音量リセット	適用対象外	
5.1.3.14 音声言語	適用対象外	

基準	適合レベル	コメントおよび説明
5.1.3.15 非視覚的エラー識別	適用対象外	
5.1.3.16 領収書、チケット、および取引出力	適用対象外	
5.1.4 文字拡大機能に依存しない機能	適用対象外	
5.1.5 聴覚情報のための視覚出力	適用対象外	
5.1.6 キーボードインターフェースなしでの操作	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
5.1.6.1 クローズド機能	5.1.3.1~5.1.3.16を参照	5.1.3.1~5.1.3.16を参照
5.1.6.2 入力フォーカス	適用対象外	
5.1.7 音声なしでのアクセス	適用対象外	
5.2 アクセシビリティ機能の起動	適用対象外	
5.3 生体認証	適用対象外	
5.4 変換時のアクセシビリティ情報の保持	適用対象外	
5.5 操作可能な部分	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
5.5.1 操作手段	適用対象外	
5.5.2 操作可能な部分の識別	適用対象外	
5.6 ロックまたはトグル制御	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
5.6.1 触覚または聴覚による状態表示	適用対象外	
5.6.2 視覚による状態表示	適用対象外	
5.7 キーリピート	適用対象外	
5.8 ダブルストライクキーの受け入れ	適用対象外	
5.9 同時ユーザー操作	適用対象外	

04.3 第6章:双方向音声通信を備えたICT

基準	適合レベル	コメントおよび説明
6.1 音声用オーディオ帯域幅	適用対象外	
6.2 リアルタイムテキスト(RTT)機能	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
6.2.1.1 RTT通信	適用対象外	
6.2.1.2 音声とテキストの同時伝送	適用対象外	
6.2.2.1 視覚的に識別可能な表示		
6.2.2.2 プログラム的に決定可能な送受信方向	適用対象外	
6.2.2.3 話者識別	適用対象外	
6.2.2.4 RTT付き音声の視覚的インジケータ	適用対象外	
6.2.3 相互運用性	適用対象外	
6.2.4 RTT応答性	適用対象外	
6.3 発信者番号	適用対象外	
6.4 音声ベースサービスへの代替手段	適用対象外	
6.5 映像通信	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
6.5.1 概要(参考情報)	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
6.5.2 解像度	適用対象外	
6.5.3 フレームレート	適用対象外	
6.5.4 音声と映像の同期	適用対象外	
6.5.5 映像付き音声の視覚的インジケータ	適用対象外	
6.5.6 映像付き(手話)通信における話者識別	適用対象外	

基準	適合レベル	コメントおよび説明
6.6 映像ベースのサービスの代替手段(助言のみ)	助言 - 応答不要	助言 - 応答不要

04.4 第7章:映像機能を備えたICT

基準	適合レベル	コメントおよび説明
7.1 字幕処理技術	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
7.1.1 字幕再生	適用対象外	
7.1.2 字幕同期化	適用対象外	
7.1.3 字幕の保持	適用対象外	
7.1.4 字幕の特性	適用対象外	
7.1.5 音声字幕	適用対象外	
7.2.1 音声解説再生	適用対象外	
7.2.2 音声解説同期化	適用対象外	
7.2.3 音声解説の保持	適用対象外	
7.3 字幕および音声解説に関するユーザー制御	適用対象外	

04.5 第8章:ハードウェア

基準	適合レベル	コメントおよび説明
8.1.1 一般要件	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
8.1.2 標準接続	適用対象外	
8.1.3 色	適用対象外	

基準	適合レベル	コメントおよび説明
8.2 音声出力機能付きハードウェア製品	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
8.2.1.1 音声音量範囲	適用対象外	
8.2.1.2 段階的音量調節	適用対象外	
8.2.2.1 固定回線機器	適用対象外	
8.2.2.2 無線通信機器	適用対象外	
8.3 据え置き型ICT機器	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
8.3.2.1 障害物のない場合の高度での前方到達距離	適用対象外	
8.3.2.2 障害物のない場合の低度での前方到達距離	適用対象外	
8.3.2.3.1 クリアスペース	適用対象外	
8.3.2.3.2 障害物のある場合の(510 mm未満)前方到達距離	適用対象外	
8.3.2.3.3 障害物のある場合の(635 mm未満)前方到達距離	適用対象外	
8.3.2.4 膝とつま先のクリアランス幅	適用対象外	
8.3.2.5 つま先のクリアランス	適用対象外	
8.3.2.6 膝クリアランス	適用対象外	
8.3.3.1 障害物のない場合の高度での側面到達距離	適用対象外	
8.3.3.2 障害物のない場合の低度での側面到達距離	適用対象外	
8.3.3.3.1 障害物のある場合の(≤ 255 mm)側面到達距離	適用対象外	
8.3.3.3.2 障害物のある場合の(≤ 610 mm)側面到達距離	適用対象外	

基準	適合レベル	コメントおよび説明
8.3.4.1 段差	適用対象外	
8.3.4.2 床または地面のクリアスペース	適用対象外	
8.3.4.3.2 前方接近	適用対象外	
8.3.4.3.3 並行接近	適用対象外	
8.3.5 視認性	適用対象外	
8.3.6 設置指示	適用対象外	
8.4 機械的に操作可能な部品	<i>見出しセル - 応答不要</i>	<i>見出しセル - 応答不要</i>
8.4.1 数字キー	適用対象外	
8.4.2.1 機械部品の操作手段	適用対象外	
8.4.2.2 機械部品の操作力	適用対象外	
8.4.3 キー、切符、および乗車券	適用対象外	
8.5 音声モードの触覚表示	適用対象外	

04.6 第9章: ウェブ (WCAG 2.xの該当セクションを参照)

04.7 第10章: ウェブ以外の文書

基準	適合レベル	コメントおよび説明
10.0 概要(参考情報)	<i>見出しセル - 応答不要</i>	<i>見出しセル - 応答不要</i>
10.1.1.1~10.4.1.3	WCAG 2.x セクションを参照	WCAG 2.x セクションを参照
10.5 字幕の位置決め	適用対象外	
10.6 音声解説のタイミング	適用対象外	

04.8 第11章:ソフトウェア

基準	適合レベル	コメントおよび説明
11.0 概要(参考情報)	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
11.1.1.1~11.4.1.3	WCAG 2.x セクションを参照	WCAG 2.x セクションを参照
11.5 支援技術との相互運用性	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
11.5.1 クローズド機能	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
11.5.2 アクセシビリティサービス	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
11.5.2.1 ユーザーインターフェース・ソフトウェア向けのプラットフォーム・アクセシビリティ・サービスのサポート	11.5.2.5~11.5.2.17を参照	11.5.2.5~11.5.2.17を参照
11.5.2.2 支援技術のためのプラットフォーム・アクセシビリティ・サービスのサポート	11.5.2.5~11.5.2.17を参照	11.5.2.5~11.5.2.17を参照
11.5.2.3 アクセシビリティサービスの使用	11.5.2.5~11.5.2.17を参照	11.5.2.5~11.5.2.17を参照
11.5.2.4 支援技術	適用対象外	
11.5.2.5 オブジェクト情報	適用対象外	
11.5.2.6 行、列、およびヘッダー	適用対象外	
11.5.2.7 :値	適用対象外	
11.5.2.8 ラベル関係	適用対象外	
11.5.2.9 親子関係	適用対象外	
11.5.2.10 テキスト	適用対象外	
11.5.2.11 利用可能な操作の一覧	適用対象外	
11.5.2.12 利用可能な操作の実行	適用対象外	
11.5.2.13 フォーカスおよび選択の属性の追跡	適用対象外	

基準	適合レベル	コメントおよび説明
11.5.2.14 フォーカスおよび選択の属性の変更	適用対象外	
11.5.2.15 変更通知	適用対象外	
11.5.2.16 状態およびプロパティの変更	適用対象外	
11.5.2.17 値およびテキストの変更	適用対象外	
11.6 アクセシビリティの使用に関する文書	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
11.6.1 アクセシビリティ機能のユーザー制御	適用対象外	
11.6.2 アクセシビリティ機能の中断禁止	適用対象外	
11.7 ユーザー設定	適用対象外	
11.8 オーサリングツール	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
11.8.1 コンテンツ技術	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
11.8.2 アクセシブルなコンテンツ作成	WCAG 2.x セクションを参照 (オーサリングツールでない場合は「適用対象外」と入力してください)	WCAG 2.x セクションを参照
11.8.3 変換におけるアクセシビリティ情報の保持	適用対象外	
11.8.4 修復支援	適用対象外	
11.8.5 テンプレート	適用対象外	

04.9 第12章:文書およびサポートサービス

基準	適合レベル	コメントおよび説明
12.1 製品マニュアル	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
12.1.1 アクセシビリティおよび互換性機能	適用対象外	
12.1.2 アクセシブルなマニュアル	WCAG 2.x セクションを参照	WCAG 2.x セクションを参照
12.2 サポートサービス	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
12.2.2 アクセシビリティおよび互換性機能に関する情報	適用対象外	
12.2.3 効果的なコミュニケーション	適用対象外	
12.2.4 アクセシブルなマニュアル	WCAG 2.x セクションを参照	WCAG 2.x セクションを参照

04.10 第13章:ICTによる中継または緊急サービスへのアクセス提供

基準	適合レベル	コメントおよび説明
13.1 リレーサービスの要件	見出しセル - 応答不要	見出しセル - 応答不要
13.1.2 テキスト・リレー・サービス	適用対象外	
13.1.3 手話リレーサービス	適用対象外	
13.1.4 読唇リレーサービス	適用対象外	
13.1.5 字幕付き電話サービス	適用対象外	
13.1.6 音声対音声リレーサービス	適用対象外	
13.2 リレーサービスへのアクセス	適用対象外	
13.3 緊急サービスへのアクセス	適用対象外	

05. 附属書

05.1 - ウェブ・アクセシビリティ

障がいとは、身体的、感覚的、精神的、認知的、心理的機能のいずれか1つまたは複数の著しい変化や持続的または決定的な変化、あるいは複合障がい、もしくは障がいをもたらす健康状態を原因として、個人が社会で経験する活動や参加が制約されることと定義されています。(article L. 114 of the Social Action and Families Code)

ウェブ・アクセシビリティとは、オンライン公共通信サービスを障がい者に使いやすくすることを意味し、下記の4つの基本原則に基づいています。

知覚可能: 情報およびユーザーインターフェースの要素は、ユーザーが知覚できる形で提示しなければなりません。たとえば、非テキストコンテンツに対してテキストによる代替措置を提供し、ユーザーのニーズに合わせて他の形式で提示します(大文字、点字、音声合成、記号、平易な表現など)。

操作可能: ユーザーインターフェースおよびナビゲーションの要素は、操作可能でなければなりません。たとえば、すべての機能をキーボード経由で利用可能にすることです。

理解可能: 情報もユーザーインターフェースの使用方法も理解可能でなければなりません。具体的には、テキストコンテンツは読みやすく、ナビゲーションは一貫していなければなりません。

堅牢性: コンテンツは、支援技術を含むさまざまなユーザーエージェントが確実に解釈できるように十分な堅牢性を備えていなければなりません。

05.2 — WCAG

WCAGの概要

ウェブ・コンテンツ・アクセシビリティ・ガイドライン(通称WCAG)とは、ウェブ・コンテンツを、障がい者にとってより利用しやすくすることを目的として策定された一連のガイドラインです。これは、ウェブの長期的な成長を目指してオープンスタンダードを開発している国際組織、W3C(World Wide Web Consortium)によって策定されました。W3CのWAI(Web Accessibility Initiative)が、WCAGの開発と管理を担当しています。

WCAGガイドラインは、デジタルアクセシビリティの標準として世界的に認知され採用されています。1999年にWCAG 1.0が発表されて以降、複数回の改訂を経て、2008年にWCAG 2.0、2018年にWCAG 2.1、2023年にWCAG 2.2が公開されました。これらの改訂は、技術の変化およびさまざまなアクセシビリティニーズに対する理解の深化を反映させるために行われています。

準拠レベル

WCAGガイドラインでは、準拠レベルをA(最低)、AA(標準)、AAA(最高)の3段階に分類しています。各レベルには、その準拠レベルを達成するために満たすべき具体的な基準があります。ガイドラインは、さまざまな個人や状況のニーズに対応できるように設計されています。レベルAは、最も深刻で制約的なアクセシビリティの課題に対処し、レベルAAAは、より包括的なアクセシビリティの課題に対処しています。

WCAGは優れたガイドラインおよび基準である一方、WCAGに100%準拠していても、すべての利用者にとって完全にアクセシブルなウェブサイトであるとは限りません。これらガイドラインは、ユーザーによるテスト、およびサイトのアクセシビリティ要件の継続的な再評価により補うことが不可欠です。

アクセシビリティ・ウェブページ

ウェブサイトのアクセシビリティ・ページは、障がい者が利用しやすいよう、サイト運営者が講じた措置を詳しく説明する場所です。これは、デジタルアクセシビリティを向上させるためのウェブデザインおよび開発におけるベストプラクティスです。アクセシビリティ・ページに、一般的に掲載される要素を下記に示します：

- **コミットメント声明**：企業や組織が、デジタルアクセシビリティへの取り組みを表明する公式声明です。
- **基準準拠**：ウェブサイトが準拠しているアクセシビリティ基準を示す部分です（例：WCAG 2.1 レベルAA）。基準への準拠の検証方法に関する情報が含まれる場合もあります。
- **アクセシビリティ機能**：サイトの主なアクセシビリティ機能の概要（キーボード・ショートカット、文字サイズ変更オプション、色コントラスト調整オプションなど）。
- **アクセシビリティ機能の使用方法**：サイトのアクセシビリティ機能の詳しい使用方法（字幕の表示方法やキーボードの操作方法など）。
- **問い合わせ先およびフィードバック**：アクセシビリティに関する問題の報告、対応の要請、またはサイトのアクセシビリティに関するフィードバックの提供を行うためのウェブサイトチームへの連絡方法。
- **更新・改訂日**：アクセシビリティ・ページまたは準拠情報の最終更新日。

アクセシビリティ・ページが存在するだけでサイトのアクセシビリティが保証されるわけではありませんが、これはデジタルアクセシビリティに対する取り組みを示す指標となります。

05.3 - 手法

客観的な手動および半自動による検証手法

当社は、さまざまな自動・半自動システムを使用してコンテンツを分析し、ツール間の結果を比較することにより、最も包括的かつ客観的な検証を実現します。特に要求されない限り、参照基準として常に最新版(WCAG 2.x)を使用しており、これによってタッチポイント(サイト、アプリ等)を利用できるすべての国における準拠を保証します。

つまり、当社の検証は、WCAG 2.xレベルAAおよびUNI EN 301549ガイドライン(またはそのフランス版RGAA s)の要件に準拠しています。各ツールによって生成された結果は、当社の専門家により分析されます。したがって、偽陰性であると判断された場合など、ツールの結果がすべて表示されないことがあります。

構文チェック用の自動ツール

- **W3C マークアップ検証サービス** : 生成されたコードで使用されます。なぜなら、これはHTML、XHTML、MathHTMLなどを検証する公式ツールだからです。
- **W3C CSS 検証サービス** : CSSの正確性はアクセシビリティに影響しませんが、記述が不正確で正しく解釈されない場合、依然としてアクセシビリティに関わる側面に影響を与える可能性があります。したがって、検証は適切であり、W3C CSS検証サービスを使用して行われます。
- **PAC PDFチェッカー**

色検証用の自動および半自動ツール

- **カラー・コントラスト・アナライザー(CCA)** : 疑わしいコントラストに対して、適宜使用されます。
- **WCAGカラー・コントラスト・チェッカー** : ページのCSSで使用されている色のコントラストを検証する最初のチェックとして使用されます。
- **背景画像のテキストのアクセシビリティ・チェック** : テキストが画像と重なる場合の検証に使用されません。
- **カラー・コントラスト・アクセシビリティ評価ツール** : 一部のオンラインページにおける追加検証として使用されます。

アクセシビリティ検証用の自動および半自動ツール

ページ上でサンプルとして使用されているオンライン検証ツール

- Accescan
- Wave

その他のローカルツール:

- **ウェブ開発者ツールバー**: 手動検証を支援するために使用されます。代替テキストのない画像やラベルのないフィールドなどを特定できます。
- **AXEおよびLighthouse (Chrome用)**: HTMLコードのアクセシビリティ上の欠陥だけでなく、ウェブアプリケーションやインタラクティブ要素において重要なWAI-ARIA属性に対して正確な評価を行います。

用語

適合レベルを示す各用語は、下記の意味を有します:

サポート: 製品の機能には、既知の不具合なしに基準を満たす方法が最低1つ存在するか、同等の支援手段が存在します。

部分サポート: 製品の一部機能が基準を満たしていません。

非サポート: 製品の大半の機能が基準を満たしていません。

適用対象外: 製品は基準の適用対象ではありません。

未評価: 製品は基準に沿って評価されていません。これは、WCAGレベルAAA基準でのみ使用可能です。

準拠レベル

さまざまなグループや状況のニーズに対応するために、3段階の準拠レベルが定義されています: A(最低)、AA(標準)、AAA(最高)

レベルA基準: 最低レベル。幅広いユーザーの体験に影響を与えます。多くの場合、簡単な導入技術が必要です。

レベルAA基準: 改善されたアクセシビリティレベル。より小規模なユーザーグループに影響を与え、より細かい導入技術が必要な場合があります。

レベルAAA基準: アクセシビリティの最高レベル。特定の状況にのみ適しています。